

長寿を祝う敬老の日に慶祝訪問 —皆様いつまでもお元気で!—

敬老の日の9月21日、101歳以上の市民の方々を対象に中山市長らが慶祝訪問を行い、祝い状などを贈呈し長寿をお祝いしました。今年めでたく101歳以上を迎えられた方は小松島市内で15人で、そのうち広報こまつしまに掲載を了承されたのは次の方々です(年齢は9月21日現在)。



市内最長寿の
立石ハルエさん

- 【106歳】 立石ハルエさん
- 【105歳】 埴淵富江さん、坂田繁子さん
- 【104歳】 船崎ミユキさん
- 【103歳】 中川ハナ子さん、岸ヤスさん、出越久仁恵さん
- 【102歳】 葎本シズエさん、田仁ヒサ子さん
- 【101歳】 山根正子さん、條國子さん、湯浅ハマエさん、中野齊江さん

市内飲食店2店舗を 小松島産はも取扱店に認定



認定授与式の様子

小松島市内の飲食店「おさかなダイニングAWAGO」、「めん処 玉好」が8月20日、それぞれ小松島はも・ちりめん普及促進協議会(住村清一会長)より、小松島産はも取扱店に認定されました。この日小松島市役所にて執り行われた認定証授与式では、中山市長および住村会長より両店の関係者へ認定証が授与されました。

「防災の日」に消防団 非常招集訓練を実施

「防災の日」の9月1日、和歌山県沖の南海トラフでマグニチュード9の巨大地震が発生したとの想定のもと、小松島市内22の消防分団および市消防本部による非常招集訓練が行われました。地震発生時の報を受け、各分団は消防分団詰所への非常招集を実施。無線および無料通話アプリ「LINE」を用いた市消防本部と各分団との通信訓練も行われ、災害への対応能力の向上が図られました。



各分団の状況を図上にて確認する消防団幹部

市民の健康増進を目指して 大塚製薬株式会社と連携協定を締結!

市民の方々の健康増進や市民サービスの向上を目指して、小松島市と大塚製薬株式会社が8月25日、包括連携協定を締結しました。医薬品の製造などヘルスケア事業のノウハウを有する同社と小松島市が連携し、市民の方々の健康寿命の延伸や熱中症予防の対策など、健康増進に関する様々な取り組みの基礎となる協定となっています。

小松島市役所で行われた締結式では、中山市長と大塚製薬株式会社徳島支店の太期一郎支店長がそれぞれ協定書に署名。健康増進に関する取り組みについて意見を交わされました。



協定書を手にする中山市長と太期支店長(右)